

女性白書2018

女性の人権と憲法—改憲の動きの中で

憲法公布から72年。世界と日本の状況は大きく変わりつつあります。「核兵器禁止条約」の採択、歴史的な南北・米朝首脳会談という激動が、平和への確実な前進を生み出しています。ジェンダー平等、女性の人権を求める動きも新たな流れを起こしています。一方で安倍政権は改憲への執念を燃やし続け、市民と野党の共闘がそれに対峙しています。

こうした動きの中で、今年の特集は、改めて憲法の果たしてきた役割、憲法における女性の人権の位置付けを確認し、憲法を生かした社会への展望を示します。

—女性の人権と憲法について、共に考え行動するための1冊—

総論

日本国憲法がこれまで果たしてきた役割と改憲策動・・・渡辺 治
憲法における女性の権利と家族・・・植野 妙実子

各論

生きる権利と憲法—貧困・格差と社会保障・・・唐鎌 直義
女性労働力政策の流れと現代の到達点・・・今野 久子
日本国憲法下でのジェンダー平等教育の進展と現在の課題・・・橋本 紀子

女性白書2018

女性の人権と憲法—改憲の動きの中で

日本婦人団体連合会編



最新資料満載！ すぐ役立ちます

★核兵器禁止条約(全文)、刑法の一部を改正する法律、政治分野における男女共同参画の推進に関する法律、民法の一部を改正する法律案要綱、働き方改革関係法律案要綱

編集 日本婦人団体連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-11-9-303

☎03-3401-6147 fax.03-5474-5585

発行 ほるぷ出版

★『女性白書2018』 3200円(+消費税) 10冊以上送料無料・割引有

申込書

『女性白書2018』

冊

送付先住所 〒

お名前

☎

fax